

平成 26 年度 第 2 回 富田林市総合計画フォローアップ会議 会議録概要

- ◆日 時：平成 27 年 2 月 13 日（金）（13：45～16：45）
- ◆場 所：富田林市役所 3 階 庁議室
- ◆出席者：吉川委員（座長）、大西委員、前川委員、湯口委員  
事務局：山下、中谷、塚本、石那田

発言者	発言概要
事務局	<p>■委員の全員出席により会議が成立していることを報告。</p> <p>■傍聴人の確認 ⇒傍聴人なし。</p> <p>～座長による議事進行～</p> <p>■郵送資料の確認</p> <p>■前回（第 1 回）会議の議事録の確認 ⇒修正なし。</p>
座長	<p>■前回の会議資料の点検の続き 資料を精査した中で、何か気になった点はないか。</p>
委員	<p>資料 7 の P. 9 経常収支比率のグラフについて、平成 22 年度に大きく下がったのはなぜか。</p>
事務局	<p>リーマンショックを起因とする景気の落ち込みに伴い、地方交付税が増額となったことや、給与改革により人件費が減額となったことによる。また、平成 22 年度からは、算定の基礎となる財源に、退職手当債を加えたため、府内都市計についても相対的に数値が下がったものである。</p>
委員	<p>権限移譲に伴って、財源も市に下りてきているのか。</p>
事務局	<p>国は、三位一体の改革により、地方に地方税等の財源と権限を移譲する方針をとっているが、現状としてそのバランスがとれているとは言い難いところもある。</p>
委員	<p>それを解決する手法として、広域連携が取られているのか。</p>
事務局	<p>広域化することで、事務効率の向上や経費削減を図れるものについては、広域連携の手法を取っている。</p>

座長	<p>■第4次富田林市総合計画取り組み状況の総括について</p> <p>次回の第3回フォローアップ会議で意見交換する課を想定しながら、的を絞って見ていきたい。この資料について、何か意見はないか。</p>
委員	<p>この資料は、とても興味深く拝見した。特に今後の方向性という項目の中で「E：廃止」と答えている事業があることは、非常に興味深い。事業を実施するにも理由もあったし、やめる理由もあるということなのだろう。</p> <p>やめる理由は、実施する必要がなくなったという意味なのか、お金がかかりすぎるからやめるのか。</p> <p>やめる理由まで分かれば、尚良いと思った。</p>
事務局	<p>「E：廃止」についての考え方だが、実施計画は予算と密接に関係しているものであり、例えば、単年度で大きな機械を入れ替えるような事業についても、実施計画として掲載されている。そのため、現時点ですでに事業が完了しているようなものも含まれており、必然的に平成29年以降の今後の方向性としては「E：廃止」を選ばざるを得ないものがある。</p>
委員	<p>§2 施策の取り組み状況では、今後の重要度と今後の方向性はパラレルな関係にあるように考えられるが、集計値を見ると一部には連動していないと思われるものが見受けられ、非常に興味深い。</p> <p>文章の説明が、具体的例も含めてもう少し踏み込んだものであれば、尚良かったように感じる。</p>
委員	<p>今後の方向性の「C：見直し(拡充)」とは、どういう意味か。</p>
事務局	<p>予算規模や対象者を増やしていくべきと判断しているものを「C：見直し(拡充)」として評価している。</p>
座長	<p>それでは、そろそろ次回の意見交換会の対象とする課について考えていきたい。個人的には、分野別に、例えば、市民参加という観点から1課、まちづくり関係から1課、福祉関係から1課、産業関係から1課という割合で考えているが、どうか。</p>
委員	<p>2時間で4つの課は、時間的に厳しいのではないか。</p>
委員	<p>先に質問の内容を伝えておき、それに10分程度で答えていただき、20分間は自由に意見交換するという時間配分で行えばどうか。</p>
事務局	<p>例えば、30分を基本に、1課につき30分～40分の枠を設けておく。</p> <p>具体的には、①13:45～14:15 ②14:30～15:00 ③15:15～15:45 ④16:00～16:30とする。順番等については、各課の業務予定もあるので、事務局に一任していただく、というのはどうか。</p>

座長	順番については、一任する。実際に出席していただくのは、課長のイメージか。
委員	課長よりは、実際に事務を担当している係長級がよいと思う。
座長	次回の会議の日程が迫ってきており、すでに他の業務等の予定があって出席できない場合を除いて、できる限り係長級の出席をお願いしたい。
座長	出席していただく4課だが、市民参加の3つのしくみづくりは第4次総合計画の根幹であり、その中心となる市民協働課については、3つのしくみづくりを進める上で、他課との関わりもあると思うので、意見交換したいと思う。 質問の内容としては、3つのしくみづくりの取組みの状況、事務事業評価の考え方についてというイメージだが、どうか。
委員	その項目については、4課共通の質問とすれば良いのではないか。  (各委員了承)
座長	2つめの課は、道路交通課や下水道課など都市基盤を担っている部署と意見交換をしたい。
委員	前回会議でも意見が出ていたが、工事等の現場では、市民と直接触れ合う機会も多く、市民サービスの最前線ともいえ、市民感覚では市の代表と見てしまう点で考えると、日々業務を行う上で、そういった意識が必要という部分もあるように思う。
委員	市民感覚という部分で言うと、例えば水道や下水道、ガスの工事を同時に行えば良いのに、といった疑問を持つ方も多いと思う。
座長	それでは、下水道課をお願いしたいがよいか。  (各委員了承)
	～休憩～
座長	基本計画第1章から市民協働課、第2章第5節から下水道課が決まったが、3つめの課は、どこの課がよいか。
委員	第2章第2節の財産管理の分野はどうか。今後の方向性の「E：廃止」も多いように思う。
事務局	単年度等期間をあらかじめ決めた改修工事等が多いことが、今後の方向性「E：廃止」が多い要因である。

委員	防災の分野も東日本大震災から時が経ち、少しトーンが下がってきている風潮にあるので、話をきく意義があるように思う。
委員	防災の分野は少し専門性が高く、30分という限られた時間では、厳しいのではないかとと思う。
座長	都市基盤の上のソフトとして福祉関係から選ぶのはどうか。対象は、子育て支援か高齢者支援になってくると思う。こども未来室と高齢介護課を両方呼ぶか、どちらか一方にして、産業分野を選ぶという手段もあると思う。
委員	産業分野では、商工観光課とはぜひ意見交換会をしたい。
委員	資料のP. 37には、「・・・、子育て支援、教育、防災の分野など、・・・、重点的に取り組んでいく必要があります」と書かれており、市の重点施策でもある子育てについては、外せないのではないかと。特に、子育て支援については、他の福祉分野に比べて、職員のアイデアが反映されやすい分野であることから、こども未来室と意見交換したい。
座長	では、こども未来室でよいか。  (各委員了承)
座長	4つめの課については、どうか。商工観光課という意見も出ているが。
委員	今後、商工観光課の果たす役割は大きいと考える。地域経営という視点で見れば、商工業を活性化させるためには、地域の収支バランスなどを意識し、地域への投資というような考え方も必要だと思うし、幅広い視点で、地域の資源を結び付けるようなコーディネート力やプロデュース力のようなものも必要であると思う。また、補助金を用意していても、希望者がいないから、それで終わりとするのではなく、補助金を使ってもらいやすいようにするのも仕事であると思う。
座長	4つ目の課は、商工観光課でよいか。  (各委員了承)
座長	以上をまとめると、市民協働課、下水道課、こども未来室、商工観光課の4課と意見交換を実施したい。当日は、ラウンドテーブルで率直な意見交換の場とする。希望としては、可能な限り現場の最前線で働く係長職員に来ていただきたい。  また、①市民参加の3つのしくみづくりの取り組み状況について ②各課の事務事業評価について(平成25年度の事務事業評価表に基づき、指標設定の考え方、内容に

	<p>についての質疑、取り組む上での感想)を共通の質問とし、意見交換を通じて相互理解を深めるような場としたい。</p> <p>次回、意見交換会を実施するにあたって、当該4課分の事務事業評価表が必要であるので、用意をお願いします。</p> <p>事務局 事務事業評価は、すべての事業に対して実施していないが、この4課で実施されているものについては、会議録発送と同時に郵送する。</p> <p>座長 今回の会議にあわせて事務局から資料提供のあった自治基本条例については、第4回目の会議で参照したいと考える。</p> <p>事務局 次回の日程確認をして終了。 (第3回は、2月23日(月) 13:30分~5階介護認定審査会室で行う。)</p>
--	--